

human

No249

2013/1

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「東北支援(福島のりんど)」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711(代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8623
ヘルパーステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F) (080)5294-5728
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail:info@ijinkai.or.jp

ふっ切れた死生観 ―ヘミングウェイの「老人と海」の老人の場合

大森澄雄

院長さんに頼まれて、『ヒューマン』に「わが闘争

―マヒとの戦い―」を書いた時に、院長さんが、「ふっ切れた死生観の持ち主でない」と自立になるのは難しいかもしれないね。そういう人が前の大戦の体験者の中に、まだいくらかいますか……」といわれた。私の死生観は超虚弱児として育ち、高等学校卒業とほぼ同時に、肺結核をわずらった時、「短いかも知れないが悔いのない人生を送ろう」と決

意した時に決まったといつてよい。

院長さんの先のことばを聞いていた時、わたしはヘミングウェイの「老人と海」の主人公である老人の生きかたを思い浮かべていた。一九五二年―彼の生前に発表された最後の小説である。私が読んだのは三十代の後半で、大変すぐれた作品だと思つた記憶が残っている。

ヘミングウェイはアメリカの近代文学を代表する作家の一人で、海釣りに

大変興味をいだき、大物の魚の釣り師として、中でも鮫釣りに強い関心を寄せていたといわれる。

鮫釣りは危険を覚悟の上で掛らねばならぬ釣りで、しかも釣り上げた瞬間が最も危険であり、自らの命と引き換えねばならぬこともあるという。

最近私はこれを機会に、新潮文庫に入っているヘミングウェイの作品のいくつかを読んでみた。一般にいわれるとおり、彼の作品の多くは通俗的で、た

だ短編小説の幾編かと「老人と海」だけは、芸術性の高い作品だと思つて読んだ。特に「老人と海」はノーベル賞受賞の対象となつた作品で、欠点であつた通俗性を脱した、随一の芸術作品となつている。

主人公の老人は貧しい独身の漁師である。これまでは、近くの貧しい家庭の子供が手伝いにきていた。釣れた魚のいくらかを貰い、それで子供の家では生活していた。しかし、最近老人には釣れない日が、

八十四日間つづいた。そこで、生活できなくなった子供の親は、四十日目ごろから他の漁師の舟にのるように勧める。外洋に出て豪快な釣りに専念する(年・老・いた・漁・師) (注・傍点大森。以下全て、老人と表記)に魅せられながらも、子供は生活のために殆ど目の見えない、内海でのみ漁をする漁師を手伝うようになる。さきにも記したとおり、老人には八十四日も不漁の日がつづき、(漁師たちが老人をいい慰みものにして)いたが、彼は怒りもしなかった。(かれのうちには、希望と自信とがまだもえつきてはいな)かったのである。

子供がきて翌日(八十五日目)の餌を用意してくれ、手伝おうかといったが、老人は断った。子供に教えたいこともあり、大物の魚を捕まえるには、老人ひとりでは無理で、子供の手は借りたいとおもってはいても、子供の家庭のことなどを考えると、頼むとはいえなかったのである。老人は本来の独身ではなく、妻に先立たれ、かつては壁に妻の写真が掛けてあったが、外してしまつた。(見るにはたえぬ寂寥の想いに襲われるのを恐れたからである)。つまり、一人でいることを、改めて

意識するのを恐れたのである。そうであつてみれば、外洋での一人の生活の中で老人が(寂寥の想いに襲われる)は必然で、ノドから手のでるほど子供と一緒にいてもらい、かつ手伝つてもらいたい気持ちのあつたことは明らかである。実際老人は魚と闘いながら、一人の淋しさを、一人の力の限界を嘆いている。そのたびに子供のことを思い浮かべている。そうした場面に、老人の心の動きをよく読み取ることのできる個所が何個所かある。そこで、そうした場面の、そうした個所を紹介し、作品全体の内容がわかるようにしながら、

老人の死生観を追つてゆくことにしたい。



赴任5年が過ぎて

さくら総合病院 副院長 救急部 山下勝之

鹿児島大学医学部を卒業後、講義が興味深かった救急科に入局。静岡の国立病院で外科の研修を行い、名古屋市の社会保険中京病院で14年間勤務した。中京病院では救急搬入患者の初期対応と、多発外傷、広範囲熱傷の全身管理を行った。救急科は、夜間、休日に忙しいことが多く、若い医師には敬遠されがちな科である。専門医は2000名程度で、なかなか増えないのが学会でも問題視されている。6回/月の当直を14年間よく頑張ったなと思いがあがるが、当時は体力もあり、また、貴重な症例を数多く経験することができたことを感謝している。

さくら総合病院に赴任して5年が過ぎた。当時の外科の入院患者は20数名だったと記憶しているが、今から考えると狭いER、ICUと、旧3階病棟で、消化器外科術後や、外傷患者の全身管理を行っていた。当院に赴任するまでは救命センターで2次、3次の初期対応と、全身状態が落ち着いて、他の科に転科するまでの管理を行っていたので、退院まで診る自己完結型のスタイルに慣れるまでに少々時間を要した。骨折患者さんの鋼線牽引を頻回に行うようになり、手術の助手や緊急手術の麻酔も数多くかける機会が得られた。

コンドル館ができて、感染対策、プライバシーの観点からも優れた個室が確保され、多くの患者さんを受け入れることができるようになった。Flat panelのX線写真、高速CTのおかげで、ER滞在時間は以前より更に短くなった。前の病院では検査に要する時間が長く、また、何科で入院するかという作業に費やす時間が長く、現在のように直ぐに入院できて、部屋もすぐに決まるシステムはせっかちな性格の自分に合っている。

ドクターカーは年々、出勤要請も増えてきており、外傷のみならず、内因性の疾患にも対象が広がりつつある。

PMIは指定施設に認可された。愛知県全域からの症例が増え、今年は400例を超えるのは確実となってきている。

先日、日本救急医学会に出席させて頂いたが、これまでトピックとして取り上げられてきた、救急医のあり方、研修医教育等の他に、IPS細胞等の再生医療の話や、IVR-CT装置の話など興味深い演題もとりあげられていた。

こうして振り返るとわずか5年の間にも、救急医療を取り巻く環境も、いろんな変遷があったように感じる。これからも時代の流れを感じつつ、職員皆で頑張っていくと思う。

復興支援キャンペーン

気仙椿ドクターズハンドクリーム



女性医師の会が監修した東北支援のハンドクリーム

椿油が手肌の乾燥を防ぎ、しっとりやわらかなお肌に整えます。

女性医師によるEn女医会が商品の企画・開発を

手がけた純国産自然派化粧品なので、安心・安全です。

配合成分

ツバキ油

気仙地域特産の椿を地元の人々が丁寧に精油した最高級椿油を使用しています。本製品をご使用いただくことが、そのまま気仙地方の産業復興につながります。

ビタミンE

はちみつ

天然植物エキス
クインシードエキス、シャクヤクエキス、ユリエキス、ボタンエキス

価格：1890円(内容量80g)

販売場所：本館・新館受付、売店、リハビリ受付、御嶽、太郎と花子売店、さくら荘

お気軽に職員までお問い合わせください。

「第4回市民公開講座」を終えて…

11月24日に開催しました「第4回市民公開講座」へ多くの方にご参加頂きました。ありがとうございました。

※今回の公演内容

「動悸…息切れ…」…………… 循環器内科 加藤医師
 「画像で分かるあなたの病気」…………… 放射線科 水野技師
 「いつまでも安全に食べるために」…………… リハビリテーション科 言語聴覚士 山田

今後も地域の皆さまへ「総合病院ができること」として役立つ医療情報をお知らせしていきます。年2回の開催を予定しています。次回の日程が決まりましたらお知らせ致しますので、皆さまお誘いの上、是非ご参加ください。



第21回 「健康を守る教室」

テーマ：『花粉症～悩まないで、我慢しないで、相談しよう～』

&セラバンドを使用した体操

日時：平成25年1月26日 土曜日 13:00～14:00(受付12:30～)

場所：新館1F

講師：臨床検査技師 舟橋 島袋

参加料：無料

お問い合わせ：受付窓口もしくは医療相談室 Tel 0587-95-0015

目がかゆい、鼻水がとまらない、春になるとこんな経験はありませんか？

いまや花粉症は国民病とも呼ばれ、5人に1人がかかっていると言われています。

また、近年は大人だけでなく幼児や小学生にも発症する事があり、初期症状の段階で一人ひとりに合った治療をしていく事が大切です。

自分にはどのような治療が適しているのか、皆さん一緒に勉強してみましよう。

※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

診療科表

平成25年1月1日現在

	午 前 9:00～12:00										午 後 5:00～7:30									
	消化器病 外傷 セクター	循環器 呼吸器 総合内科 セクター	運動器 形成 セクター	脳卒中 脊椎 神経 セクター	神経 糖尿病 感染症 セクター	脳卒中 脊椎 神経 セクター	泌尿器 外傷 セクター	皮膚科 セクター	耳鼻科 セクター	腎臓 泌尿器 セクター	眼 科 セクター	消化器病 外傷 セクター	循環器 呼吸器 総合内科 セクター	運動器 形成 セクター	脳卒中 脊椎 神経 セクター	神経 糖尿病 感染症 セクター	泌尿器 外傷 セクター	皮膚科 セクター	耳鼻科 セクター	腎臓 泌尿器 セクター
月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ※1 休診日あり ※2 祝日診療あり(9:00～11:00)
- 診療時間は、診療科目により異なります
- ご不明な点がある場合は、職員にご確認ください
- 診療日が変わる場合があります。ご了承ください

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)

human ヒューマン さくら総合病院 発行年月日 2013年1月1日

No.249 丹羽郡大口町新宮1-129 発行部数 350部